

一番わかりやすいのは容姿の変化。服装の乱れや髪の毛(色や切り方)に変化が現れたときには、なにか理由があると考え、声をかけます。次に気になるは友達の変化。今まで仲良さそうに話していたのに最近話していない、他の人たちと話していることが多いというときは、声をかけます。(神奈川県・柳澤隆規先生)

普段マイペースの生徒がすりよってくる場合、逆に普段近くにいる生徒が距離をとるようになる場合。(神奈川県・A先生)



「最近思うこと」と題した自由作文に気になるコメントがあったとき。これは有効です。(茨城県・B先生)

目の輝きが一番よくわかる場所だと思います。何かを訴えたい生徒は人の気を引こうと必死。妙に突っ張ってみたり、元気のない顔をしてみたり、不満そうな顔をしてみたり。そんなときすかさず話しかけます。「うるせえなあ!」といわれても世間話でもなんでもしてやることで、心開くときもあります。(東京都・C先生)



声に元気がないときは要注意。表面を取り繕っていても、何かを抱えているときは、声の高さ、張り、力などが普段とは明らかに異なっています。(愛媛県・彦田順也先生)

朝ホームルームで出席確認をするとき、必ず表情を見るようにしています。全員の名前をフルネームで暗記しており、名簿は見ずに呼称するので、「観察」はしやすいのです。(千葉県・D先生)



授業中、暗いけど目が合うとずっと目を合わせてくる生徒は要注意。何かを訴えかけてくる子は目を見てきます。(北海道・田宮司先生)

## 進路指導、私の工夫 となりの知恵袋



テーマ：生徒のこんな様子に要注意  
こんなときは声をかける

ネット閲覧可

WEBサイトには紙面に載せきれなかったヒントも掲載  
キャリアガイダンス.net >> [「進路指導、私の工夫」](#)をチェック!